

# 仕様

※本機の仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

## 511DRH

受信周波数	806.125MHz~809.750MHz B 型 30 チャンネル
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイナ方式
受信感度	1.2μV
3dB 帯域幅	150kHz
標準周波数偏移	±5kHz
最大周波数偏移	±40kHz
Inter Modulation	65dB 以上
Squelch Sensitivity	-96dBm
De Emphasis	50 μ sec
Noise Reduction	Expander
基準出力レベル	+4dBm (100% Dev)
S/N 比	100dB 以上(100% Dev)
歪率	0.5%以下(100% Dev)
アンテナ入力端子	BNC コネクター
オーディオ出力端子	CLR-32-3、Φ6.5 標準ジャック
電源	DC 12V (付属の AC アダプターより供給)
消費電流	400mA 以下
LED 表示機能	5 ポイント RF レベル、ダイバシティ(A/B 表示) 5 ポイント AF レベル

外形寸法	204(W)×44(H)×210(D)
質量	約 1.2kg

## 52BT/51HT

送信周波数	806.125~809.750MHz B 型 30 チャンネル
電波形式	F3E
発振方式	水晶制御 PLL シンセサイザー方式
空中線電力	10mW
Tone Frequency	32.768kHz
Noise Reduction	Compressor
マイク入力/インピーダンス	φ3.5mm ミニジャック ECM -60dBm/22KΩ (52BT)
マイクユニット	ダイナミック型(51HT)
LED 表示機能	電源 ON(グリーン)、電池交換時期(レッド)
電源	DC 3V(単 3 乾電池×2)
消費電流	150mA 以下
電池寿命	6~8 時間(アルカリ乾電池使用時)
外形寸法	63(W)×98(H)×27(D) (52BT アンテナ含まず) 63(D)×243(L) (51HT アンテナ含まず)

質量(乾電池含む)	約 160g (52BT) 約 320g (51HT)
付属品	タイプイン型マイクロホン(52BT)

## B 型周波数

バンド 連番	送受信 周波数 (MHz)	グループ番号					
		1	2	3	4	5	6
1	806.125	B11					
2	806.250		B21				
3	806.375	B12					
4	806.500		B22				
5	806.625			B31			
6	806.750				B41		
7	806.875			B32			
8	807.000		B23				
9	807.125	B13					
10	807.250						B61
11	807.375			B33			
12	807.500				B42		
13	807.625					B51	
14	807.750	B14					
15	807.875		B24				
16	808.000				B43		
17	808.125					B52	
18	808.250			B34			
19	808.375					B53	
20	808.500		B25				
21	808.625			B35			
22	808.750					B54	
23	808.875		B26				
24	809.000	B15					
25	809.125				B44		
26	809.250			B36			
27	809.375				B45		
28	809.500	B16					
29	809.625					B55	
30	809.750				B46		

## 保証書

本書は裏面の保証規定により、無料修理を行なう事をお約束するものです。

お客様	ご住所	機種名 <b>511DRH(J) 52BT(J) 51HT(J)</b>	
	お名前	取扱い販売店	住所
保証期間	一年	お買上日	年 月 日
店名			

### 保証規定

- 保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理致します。
- つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
  - 水害、落雷、異常電圧その他天災地変による故障
  - ファイナルおよびマイコン関係による故障
  - お買い上げ後の輸送、落下等による事故および損傷
  - 本保証書のご提示がない場合
  - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 不当な修理および改造をした場合は、修理をお引き受けできません。
- 修理品の送料に関しては、本保証に含まれておりませんので予めご了承ください。

**アズデン 株式会社**  
http://www.azden.co.jp e-mail:sales@azden.co.jp

本社 〒181-8533 東京都三鷹市上連雀 1 丁目 12 番 17 号  
営業部 TEL 0422-55-5115 FAX 0422-55-0131

PRINTED IN JAPAN 060-34668-01

# ステージ用ワイヤレスマイクロホンシステム 511DRH(J)

800MHz B 型スペースダイバシティレシーバー

52BT(J)

51HT(J)

B 型ベルトパケットランスマッター

B 型ハンドヘルドランスマッター

## 取扱説明書

このたびはアズデンの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管下さい。

### 主な特長

- ・511DRH はスペースダイバシティ方式により安定受信、混信に強い30チャンネル切替方式です。
- ・他の電子機器の電波ノイズに影響されにくい800MHz帯の周波数を使用しています。
- ・ノイズリダクションを搭載していますので、広いダイナミックレンジが得られます。
- ・800MHz帯特定小電力無線局機器の適合証明を受けたワイヤレスマイクロホンシステムです。

### ⚠️ご使用上の注意

- ・本機は国内専用機です。海外での使用はできません。
- ・電池のセットや交換は必ず“電池の交換の仕方”にしたがって行ってください。
- ・マイクの改造、変更等は電波法により禁じられております。改造した機器を使用いたしますと罰せられることがあります。

・次のような所でのご使用や保存は故障の原因となりますのでご注意ください。

- \* 湿度の高い場所(風呂場、濡れた床など)
- \* 温度の異常に高い場所(暖房器具の近く、直射日光のあたる所)
- \* 振動の強い所
- \* 埃の多い所

・テレビやラジオの近くで本機を使用すると、テレビの画面に色ムラが出たりラジオから雑音ができることがありますのでその時は本機を遠ざけてください。

・本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合、ハム(うなり)を誘導することがあります。

・マイクに貼付された証明シールは、剥がさないでください。シールが付いていませんと技術基準適合証明の効力が消滅します。



### 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容が無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**⚠️ 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**⚠️ 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

**⚠️** この様な絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

**🚫** この様な絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**❗** この様な絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### ⚠️ 注意

**🚫** 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

**⚠️** 電池を機器内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器にある表示通りに入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

**❗** 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

## 警告

■万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

■万一、内部に水などがいった場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。）

■電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

■この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないで下さい。火災の原因となります。

■この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■この機器に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺等屋外での使用は特にご注意ください。

■風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意

■調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■この機器の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■電源プラグ（またはACアダプター）を抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ（またはACアダプター本体）を持って抜いてください。

■濡れた手で電源プラグ（またはACアダプター）を抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は安全のため電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて行ってください。

■旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いてください。

■指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

■電池を機器内に挿入する場合は、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、機器にある表示通りに入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### ACアダプターを使用する機器のみ

■この機器には、専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

■ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

## ご使用上の注意

### チャンネルについて（裏面の周波数表を参照してください）

・使用周波数は周波数帯、グループ番号及びチャンネル番号であらわした3個の記号で表します。

イ … 周波数帯を表す信号です      B : 800MHz  
ロ … グループ番号の表示          1 ~ 6  
ハ … チャンネル番号の表示        1 ~ 6

・これらのチャンネルは混信を避けるため、6つのグループに分かれています。同一場所での使用の時は各セットを同じグループ番号にしてください。最大6セットまで使用可能です。グループ番号が異なると混信や妨害が発生する恐れがあります。

### 使用方法

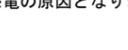
- ◆チャンネル確認――ワイヤレスマイクとレシーバーの相互の機器のグループ番号とチャンネル番号が合っているか確認してください。
- ◆電源 ON――電源スイッチを ONIにしてください。電源表示LEDが緑色に点灯します。電池が消耗してくると電源表示LEDが赤に変わり消灯します。電池は早めに交換してください。連続使用での電池の寿命は、アルカリ電池で約6～8時間です。
- ◆電源 OFF――ご使用後は電源スイッチを元の位置に戻してください。



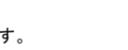
電源プラグをコンセントから抜くこと



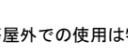
電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



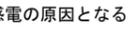
電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



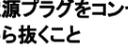
電源プラグをコンセントから抜くこと



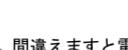
電源プラグをコンセントから抜くこと



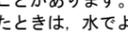
電源プラグをコンセントから抜くこと



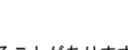
電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



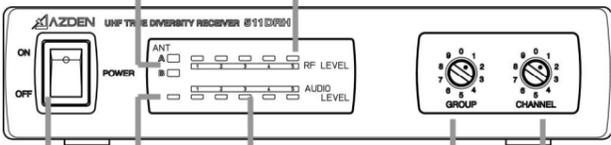
電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと

## 各部の名称 511DRH

ダイバシティA/B表示    RFレベル表示



電源スイッチ/ON表示

オーディオレベル表示

①グループ切替スイッチ

②チャンネル切替スイッチ

### 接続の仕方

- ・XLR-3ピン(平衡)又は、Φ6.3標準(不平衡)の出力端子(OUTPUT)と接続する機器の入力端子をケーブル(別売)で接続します。
- ・アンテナ入力端子に付属のアンテナ(BNCタイプ)を接続します。
- ・外部電源入力端子(DC 12V)に付属の専用ACアダプターAD-23にて接続します。(専用のACアダプター以外ご使用にならないでください)
- ・接続する機器にあわせて出力レベルを調整します。システムの使用状況に応じてスケルチレベルの調整をすることもできます。

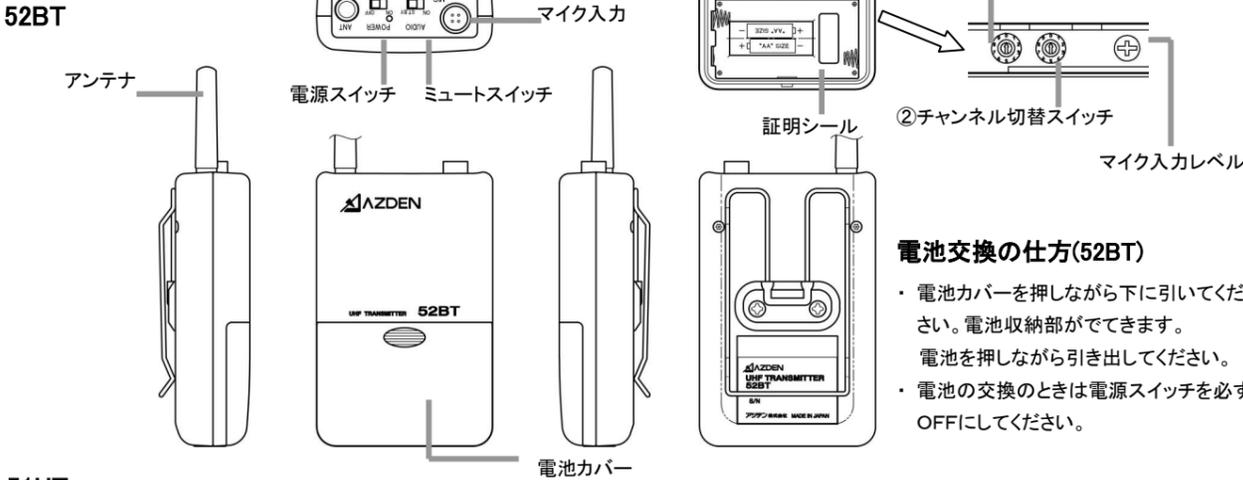
### チャンネル設定の仕方(511DRH)

- ①グループ切替スイッチ
- ②チャンネル切替スイッチ

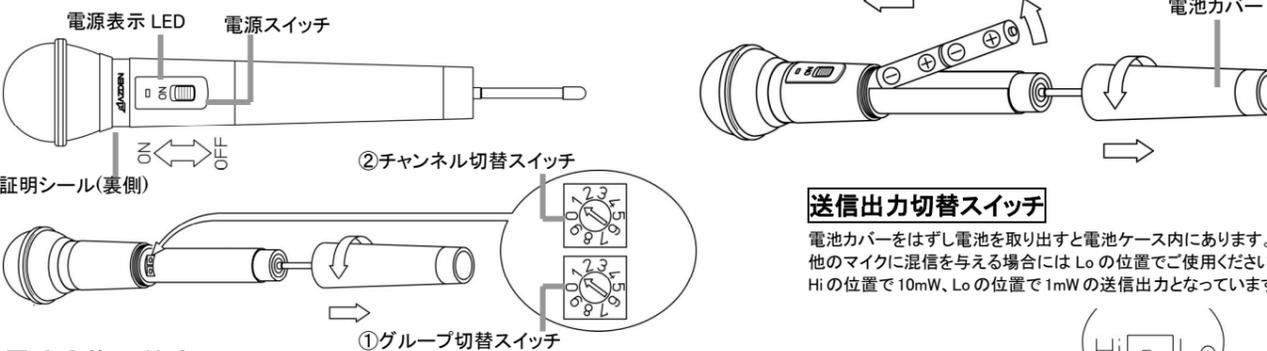
送信チャンネルを切り替える時に使います。グループ切替スイッチでグループ番号を、チャンネル切替スイッチでチャンネル番号を選びます。

\*チャンネルを設定する時は、必ず電源スイッチをオフにして行ってください。オンのままチャンネルを切り替えると故障の原因になります。

## 各部の名称 52BT



### 51HT



### 電池交換の仕方(51HT)

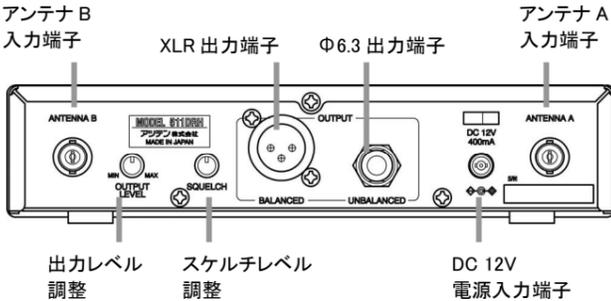
- ・電池カバーを左に廻してください。電池収納部がでできます。電池を矢印の方向に押しながら引き出してください。
- ・電池の交換のときは電源スイッチを必ずOFFにしてください。

### チャンネル設定の仕方(52BT,51HT)

- ①グループ切替スイッチ
- ②チャンネル切替スイッチ

送信チャンネルを切り替える時に使います。グループ切替スイッチでグループ番号を、チャンネル切替スイッチでチャンネル番号を選びます。

\*チャンネルを設定する時は、必ず電源スイッチをオフにして行ってください。オンのままチャンネルを切り替えると故障の原因になります。



出力レベル調整

スケルチレベル調整

DC 12V電源入力端子

### 電池交換の仕方(52BT)

- ・電池カバーを押しながら下に引いてください。電池収納部がでできます。電池を押しながら引き出してください。
- ・電池の交換のときは電源スイッチを必ずOFFにしてください。

### 送信出力切替スイッチ

電池カバーをはずし電池を取り出すと電池ケース内にあります。他のマイクに混信を与える場合にはLoの位置でご使用ください。Hiの位置で10mW、Loの位置で1mWの送信出力となっています。

